

平成 21 年 11 月  
No.09-079a(山)※5

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきたくご案内いたします。  
何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

■検査内容変更項目

別掲の一覧をご参照下さい。

■変更期日

平成 21 年 12 月 3 日(木)受付分より

以上

## ■検査内容変更一覧

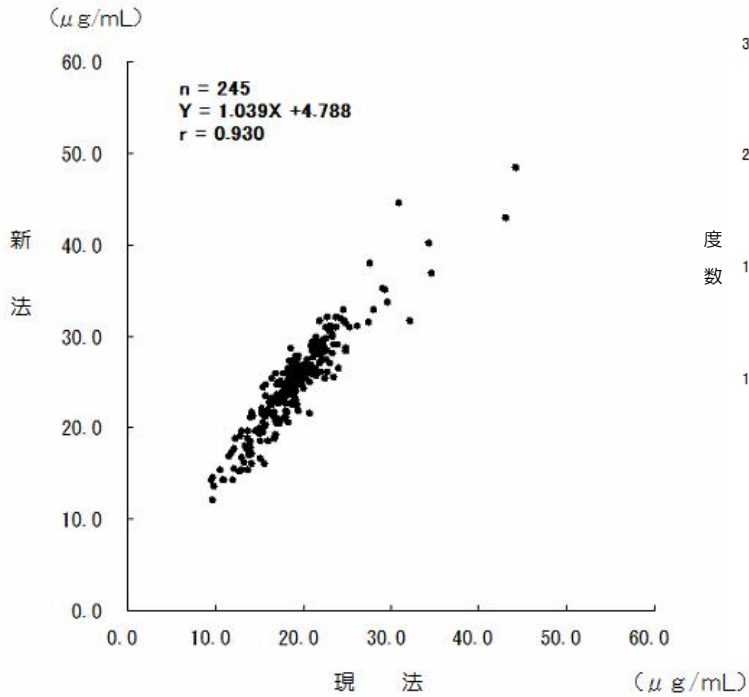
掲載頁	項目コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
30	2135	TBG定量	検査方法	RIA PEG 法	RIA 2抗体法	現試薬販売中止に伴う変更。その他検査方法参考文献の変更。
			基準値	15.9~35.6( $\mu\text{g/mL}$ )	12~30( $\mu\text{g/mL}$ )	
78	3776	PAIgG (血小板関連IgG)	基準値	46 以下 ( $\text{ng}/10^7\text{cells}$ )	9.0~25.0 ( $\text{ng}/10^7\text{cells}$ )	より安定性の高い専用容器への変更。基準値の見直しによる再設定。
			検体量	血液 7.5 mL	血液 7.0 mL	
			容器内容	B(ACD-A 液入)	B(EDTA-2Na 入)	
83	3467	プレアルブミン	委託先	三菱化学メディエンス(*1)	エスアールエル(*5)	基準値、その他検査要項の変更はありません。
83	1816	レチノール結合蛋白(RBP)	検査方法	ラテックス凝集比濁法	ネフェロメトリー	精度の高い検査方法への変更。基準値、その他、参考文献の変更。新基準値は文献値です。
			基準値	M 2.7~6.0 F 1.9~4.6 ( $\text{mg/dL}$ )	2.4~7.0 ( $\text{mg/dL}$ )	
121	—	胃液検査 (遊離塩酸)	検査方法	滴定法 (Töpfer-Michaelis 法)	Töpfer-Michaelis 法	委託先の変更による検査方法変更。
121	7151	胃液検査 (総酸度)	検査方法	滴定法 (Töpfer-Michaelis 法)	Töpfer-Michaelis 法	
121	7152	胃液検査 (乳酸試験)	検査方法	ボアス法(Boas 法)	Kelling 法	
121	7882	関節液検査	検体量	関節液 5.0 mL	関節液 10.0 mL	

# TBG定量

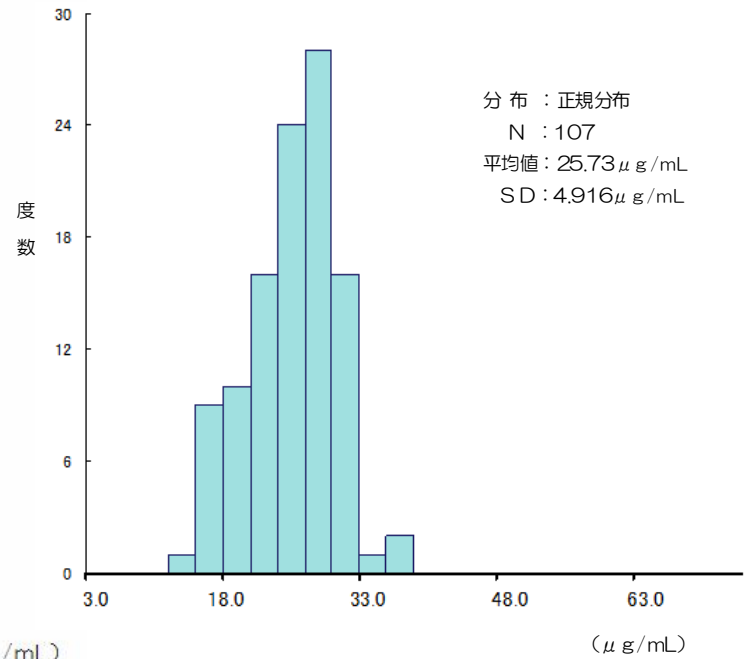
本検査におきまして、検査試薬販売中止に伴い、検査試薬を変更させていただきます。併せて、検査方法、基準値および検査方法参考文献を変更させていただきます。

項目コード	検査項目	変更箇所	新	現
2135	TBG定量	検査方法	RIA PEG 法	RIA 2抗体法
		基準値	15.9~35.6 ( $\mu\text{g/mL}$ )	12~30 ( $\mu\text{g/mL}$ )

## ▼現法と新法の比較



## ▼健常人分布



## ■新検査方法参考文献

海瀬 信子, 他: 核医学 16(5):777~783, 1979.

## PAIgG(血小板関連IgG)

本検査におきまして、より保存安定性の高い専用容器に変更させていただきます。併せて検体量の変更および、基準値の見直しによる再設定をさせていただきます。なお、新基準値は文献値です。

項目コード	検査項目	変更箇所	新	現
3776	PAIgG (血小板関連IgG)	基準値	46 以下 (ng/10 <sup>7</sup> cells)	9.0~25.0 (ng/10 <sup>7</sup> cells)
		検体量	血液 7.5 mL	血液 7.0 mL
		容器内容	B(ACD-A 液入)	B(EDTA-2Na 入)

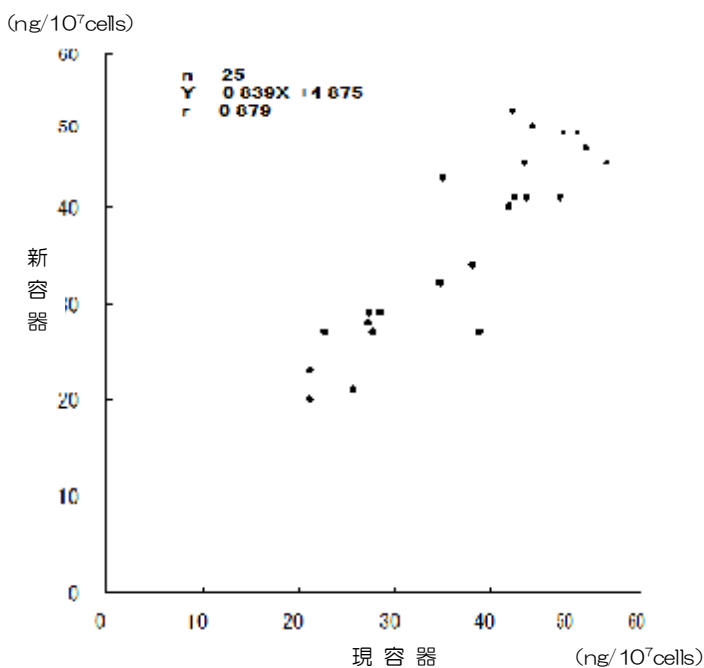
### ▼新容器形状 (B)

内容 ACD-A 保存液入り  
 貯蔵方法 室温  
 有効期間 1 年  
 (アルミシート  
 開封後 1 ヶ月)



ACD-A 液: Acid Citrate Dextrose Solution-A 液

### ▼現容器と新容器による比較



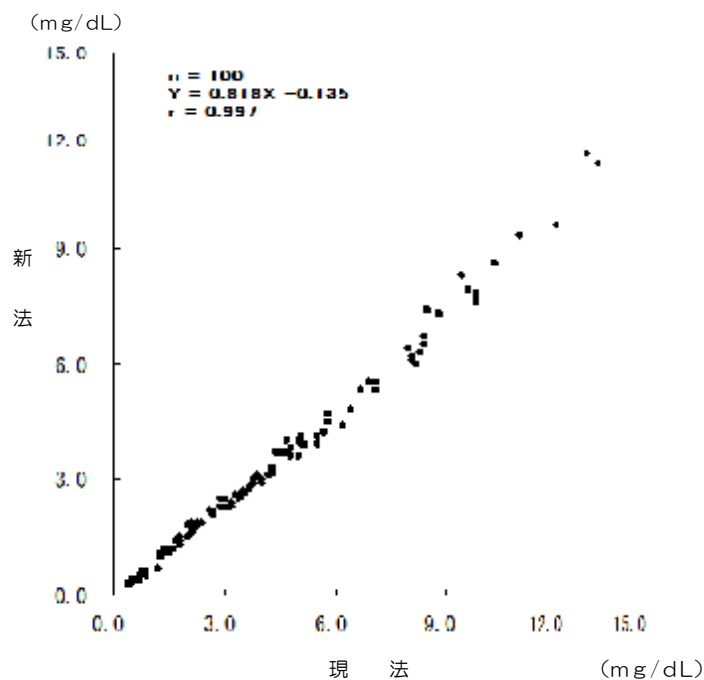
## レチノール結合蛋白(RBP)

本検査におきまして、より精度の高い検査方法へ変更させていただきます。併せて、検査方法参考文献を変更させていただきます。なお、新基準値は文献値 です。

項目コード	検査項目	変更箇所	新	現
1816	レチノール結合蛋白(RBP)	検査方法	ラテックス凝集比濁法	ネフェロメトリー
		基準値	M 2.7~6.0 F 1.9~4.6 (mg/dL)	2.4~7.0 (mg/dL)

### ▼現法と新法の比較

#### レチノール結合蛋白(RBP)



### ■新検査方法参考文献

古田島 伸雄, 他 : 日本臨床検査自動化学会誌 32(1):84~88, 2007.